

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名	農業制度資金		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり	所属部	事業部	課長名	岐部 則夫
体系	施策	11	農業の振興	所属課	農政課	担当者名	岡本 貴子
	基本事業	33	経営力の強化・生產品の価格安定	所属班	農政班	(内線)	1174
予算科目	会計一般	款6	項1	目5	事業連番10287	法令根拠	合志市農業制度利子補給要綱 熊本県農業制度資金利子補給費補助金交付
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
						成果優先度評価結果	: ⑦
						コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	効率的かつ安定的な経営体を目指す農業者に対し、経営改善のために必要とする資金について利子助成を行うことにより、合志市農業の健全な発展に寄与することを目的として、予算の範囲内において、認定農業者等に対し、農業経営基盤強化資金に係る利子助成金を交付する。借入金の返済が、農業経営にとって大きな負担となる場合もあり、農業経営の維持安定のため、その利息負担を軽減しようとするため。本事業によって、農家の負担が軽減されている。
【業務の流れ】	・利子助成対象に対して助成金の支払事務及び県補助金申請事務 【事務の流れ】 1. 県への交付申請：①県より対象者のブルーリスト・計算明細書等の送付→内容確認→疑義→県より回答 ②県へ補助金交付申請 ③交付決定 ④請求書提出 ⑤補助金交付 2. 資金借入者及び金融機関：①補助金申請 ②交付決定 ③支払い
【主な予算費目】	通信運搬費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	なし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
利子助成対象に対して助成金の支払事務及び県補助金申請事務	金融機関及び農業者等に対して利子補給補助金交付の一連事務及び県補助金申請事務
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 農業制度資金新規申請件数	イ: 負担金補助及び交付金について、資金返済や資金助成期間が終了した方がいるための減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
農業経営改善資金等を借り入れている認定農業者等	→ ア: 利子補給対象者数 (単位) 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
利子負担に伴う経済的な負担を軽減させる(負担が軽減される)	→ ア: 利子負担の軽減度(補助額÷利子負担額) (単位) %
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
事業の意図が、利子負担軽減のため、その軽減度を設定。軽減度は前年度並み。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
① 活動指標	ア 件		13	8	10	9	8	8	8	8	
	イ										
② 対象指標	ア 人		43	34	30	28	23	23	23	23	
	イ										
③ 成果指標	ア %		12.24	12.03	12	10.46	10	10	10	10	
	イ										
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円	1,491	1,297	1,200	1,178	1,082	1,082	1,082	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	1,873	1,577	1,506	1,158	1,024	1,024	1,024	1,024
		(A) 事業費計	千円	3,364	2,874	2,706	2,336	2,106	2,106	2,106	2,106
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	1	2	1	3	1	1	1	1
延べ業務時間	時間	410	555	400	447	500	500	500	400		
(B) 人件費計	千円	1,669	2,211	1,593	1,780	1,992	1,992	1,992	1,593		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,033	5,085	4,299	4,116	4,098	4,098	4,098	3,699		

事務事業名	農業制度資金	所属部	事業部	所属課	農政課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度事後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 市町村が利子補給する資金については新規の申請はなかったが、市特別融資制度推進会議で認定するスーパーL資金や農業近代化資金等については、平成26年度は9件の申請があった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 新規での資金借入れがあれば目標に近づく。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 借入年月日現在で、利子補給率は定まる。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 利子補給については、全国的な制度なため市単独で補給率を下げることは出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 利子助成金支払い及び県補助金交付事務のため、職員以外での対応できない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 利子補給対象者は限定されているので、不公平でない。また、借入金の本質から鑑みて、妥当な利子補給である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 補助金交付及び申請といった事業内容からして、行政での対応しかできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

安定した農業経営の維持が厳しい農業者に対し、収益性の向上による農業経営の改善を図るための資金制度であるため、今後も、県・金融機関等と連携し、個々の農業者の状況に応じた支援等を行っていく。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					